シルバー所沢

第118号

2012年4月1日

つざいの樹

発行：公益社団法人 所沢市シルバー人材センター　編集/広報部会
〒359-1143　所沢市宮本町１－１－２
☎ 04-2928-8695／FAX 04-2924-0630
ホームページアドレス　http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/

▽もくじ△

2頁＝公益社団法人元年
中・長期基本計画は今
3頁＝今年度の目標・施策
4頁＝地区委員会議を拝見
5頁＝会員作品で独自事業
6頁＝悠和会たより
サークル訪問
7頁＝お仕事拝見
健康一口メモ
8頁＝定時総会5月23日開催
婦人部主催研修会他

天空から地上の緑へ

植木職・中村 巌さん

かつて中島飛行機でロケットづくり、日産へ移ってもロケットづくり、そして今はシルバーの植木職。昭和7年生まれの中村巌さん（新所沢東）です。

今日の仕事は、所沢新町の立派な門かぶりの松の剪定です。糸川英夫博士が主導したペンシルロケットの打ち上げ実験にも携わった中村さん、高い所はお得意？　はしごの上で、はさみさばきも軽やか。

「この仕事はおもしろくて。お客さんに喜んでいただくことが何よりもうれしい」。続けて「これからは後輩の育成にも力を注ぎたい」。

はさみを動かす合間に、ニコニコと話していただきました。（長谷川）

公益社団法人 スタート
これからの事業運営は…

理事長　森澤　弘

表紙の題字「つどいの樹」の下がちょっと変わったのに、お気付きでしょうか。1月号まで「発行：社団法人……」とあったのが、4月号から「公益社団法人」と「公益」の2文字が加わったのです。

小さな文字ですが、税制上の優遇措置や社会的信用など「公益」を名乗れる意義は小さくありません。

私は、意義ある公益社団法人元年に当たり、『創意工夫』をスローガンに掲げました。この言葉に、私は次のような思いを込めました。

まず『創意』。これは仕事に対する創造です。創造が無いところで良い仕事はできません。次に『工夫』ですが、創造して作り上げたものを、いかに生かしていくかを、常に考えて実行することです。

この『創意工夫』に、シルバーの理念『自主・自立、共働・共助』を織り込み、所沢市シルバー人材センターの運営を心がけてまいります。

また公益社団法人の下では、会員だけを対象としていた従来の運営とは異なり、所沢市全体の高齢者の福祉向上を目的とした事業運営が求められます。

このような取り組みに加え、団塊の世代への対応を早急に考えなくてはなりません。次々に定年を迎える60歳以上の人たちが、働く場を求めてシルバー人材センターの会員になることは目に見えています。その人たちの就業機会を確保することも念頭に置きながら、事業を進めていくことになります。

社会参加に意欲がある健康な高齢者が、働きたくても仕事がないといった労働力の飽和現象が起きないように、地域社会と連携を取りながら会員の希望に応じた就業を確保するため、一丸となって取り組む必要があります。センターを支えるのは会員です。皆さんのご協力、ご支援をお願いします。

平成24年度スローガン
創意工夫

○「互譲の精神」と「感謝の気持ち」

○「安全は　一声かける　ゆとりから」
- 安全は全てに優先する
- 常日頃の「危険予知訓練」（K. Y. T）
- ハインリッヒの法則　「1対29対300」

○派遣事業を強化し法令順守

○苦情を業務に反映

○会員一人ひとりがセールスマン
- 地域の情報を事務局へ

シルバーの理念
自主・自立、共働・共助

中・長期基本計画は今

平成20年10月に策定された「現状と課題」31項目のうち、新たに決定された事項、既に実施されている項目の主なものを報告します。

＊事務費率の改正

事務費規程の一部を改正。4月から現行のおおむね7％を9％以内にします。増大するセンターの事業経費に充てますが、会員への配分金などに変更はありません。

＊理事会の活性化

平成22年6月に設けられた「会員理事会」を4月から「課題審議委員会」に改組します。

理事会の活性化を図るとともに、事業運営や中長期課題の審議などに取り組みます。

＊モラルと資質の向上策

表彰制度を今年7月から実施します。個人、グループを対象に、会員意識の高揚を図ることを目的としています。

表彰＝センターの発展に貢献、就業先に貢献、社会的な功績、他の会員の模範など。

（高柳）

「つどいの樹」のおはなし①：読者から、「所沢市シルバー人材センターの広報紙は、なぜ『つどいの樹』と名付けられたのですか？」との疑問がよせられました。

3000人体制へ

――事業部会

新公益法人として公共的な事業体制を確立・推進するとともに、中期基本計画の最終年度として、検討課題を実行に移します。

①**就業機会**＝開拓・強化に力を入れるとともに、地域社会への奉仕活動も一段と進めます。

②**会員増強**＝平成26年度末３００人体制に向けて活動します。

③**研修会・講演会の実施**＝会員が積極的に参加できる内容にし、一般市民向けにも開催し、公益法人としての役割を果たします。

④**中・長期基本計画の課題**＝順次具体的に実行します。

⑤**新公益法人移行に伴う改革**＝新定款・新財務諸表に沿い、細部にわたり諸規定の再点検を実施します。

（部会長　横田光雄）

会員をつなぐ紙面

――広報部会

「会員をつなぐ広報紙」をテーマに、読まれる、読みたくなる会員情報紙を目指します。そのための取材活動をさらに活発化させます。

①**主役は会員**＝シルバーを支えるのは会員です。多様な人材の多様な活躍ぶりを紹介していきます。

②**就業情報を**＝関心の高い就業状況、新規開拓状況に加え「こんな仕事がある」「こんな仕事は出来ないか」など、仕事情報を発信します。

③**シルバー交流**＝各地のシルバーと積極的に交流し、先進的な取り組みなどを紹介していきます。

④**地域への発信**＝市民や発注者にシルバー活動をＰＲします。その手段としてホームページの改革も検討します。

（部会長　陸浦孝之）

事故ゼロのために

――安全委員会

「安全はすべてに優先する」は変わることのない大前提です。23年度から取り組んでいる、就業相談時における「健康カードの提示」義務化や「安全就業組織体系図」に基づく組織的な安全就業活動を通じ、会員事故の予防に務めます。また「さわやか対応マニュアルの順守」の義務化などにより会員事故ゼロを目指します。

（委員長　肥沼金治）

今年度の目標と施策
各部会・委員会

要綱見直しを継続

――就業適正委員会

①**公平な裁定**＝就業基準要綱により、就業期限・就業年齢に関する裁定を厳正・公平・適正に運用します。

②**要綱の見直し**＝就業環境の変化や就業会員拡大などの状況に対応する就業基準要綱の見直しを継続して行います。

③**発注者の声**＝苦情などを分析し公益社団法人にふさわしい、地域社会に不可欠な組織を目指します。

（副委員長　阿久津貞夫）

会員比率35％目指し

――婦人部

①**女性会員の増員**＝多種多様な就業要望に応えるために女性会員比率35％を目指します。また婦人部リーダーによる就業開拓を検討します。

②**講演会・研修会**＝各部会と協力し、また婦人部独自に開催し、会員以外の女性も取り込んで、女性の輪を広げます。（部長　吉松直子）

パイプ役として

――地区委員会

地区懇談会などで寄せられた会員の要望、苦情、質問をしっかり受け止め、早期解決に向けて取り組む委員会を目指します。

会員拡大や情報収集、広報紙配布など、会員とセンターとの太いパイプ役として、地域に密着した活動を展開します。（委員　吉松直子）

平成24年2月末 会員数	
男	女
1,865 人	789 人
合計 2,654 人	
12～2月移動計	
入会者	退会者
137 人	57 人
賛助会員企業数 31	

「つどいの樹」のおはなし②：１００号を記念した公募で、柳瀬地区の前村潔さん、三富達也さんの応募した「つどい」と「樹」を組み合わせて命名されました。

どうする　懇談会活性化

地区委員会議を拝見

シルバーでは市内を11地区に分け各地区に班を作っています。班長が「つどいの樹」を配るなど、会員との連携をとる基礎的な組織です。その代表者が集まる12月20日（火）の地区委員会議を取材しました。

新公益法人移行に伴い、地区懇談会・懇親会を見直す動きもあり、各委員の考え方や悩みなどを聞くことができました。なお柳瀬地区委員の菅谷功さんは所用のため欠席でした。

（阪口＝似顔絵も）

小手指＝佐竹直茂さん　昨年までは会費制で弁当を用意した懇談会だったが、今回は会費なしで開催。案内状は班長が配り、出欠は班長が電話で確認する方法を採用しました。

吾妻＝高柳一臣さん　懇談会は会費制で開催しました。60歳～65歳の人から「合う仕事がない」との不満が出ていました。

三ヶ島＝松本利男さん　懇談会の案内・返信ハガキは班長が配布、ハガキには「出欠に関わらず投函して」と明示していますが、3割程度は返事がきません。会費制で赤飯やビールを出します。

副地区委員の2名は75歳以上で市報配布の仕事がなくなり脱会、班長の後継者が不足しています。

新所沢＝山口博さん　2ヵ月ごとの地区委員会議の後に班長会議を開いています。毎年、懇談・懇親会は満州飯店で開催しましたが、経費節減の観点から老人福祉センター緑寿荘で開催、会費制でB級グルメとビールを出す予定です。

松井＝小林多摩樹さん　地区の懇談・懇親会は効果的なのかとの議論があります。13人の班長の内3人が、市広報配布の年齢制限の影響で、辞めたいと言っています。

中央＝松本勇治さん　後継者不足で副会長3名を会長・副会長各1名体制にしようと思っています。80歳以上の方に班長の仕事をしていただく場合があるが、怪我でもされたらと心配です。懇談会は会費なしで予定しています。

所沢＝九鬼春雄さん　懇談会は出席者が毎回同じなので、どうしようかと相談中です。今のところ開催の予定は立っていません。

山口＝秋和敏雄さん　懇談・懇親会は、さくら荘での開催を予定しています。80歳以上の班長もいますが、元気にやっていただいている。

富岡＝田口豊さん　懇談・懇親会は往復ハガキで連絡しています。富岡荘で、危機管理の講座を行う予定です。

「つどいの樹」のおはなし③：「つどいの樹」の意味は、「会員一人ひとりがシルバーに集い、力を合わせることで大樹を成す」です。

小物販売も独自事業
皆さんのアイデアを

旧市庁舎の2階、当センター事務局の横に、昔懐かしい玩具や、しゃれたアクセサリーなどが飾られたショーケースがあります。

全て会員の手作りで、手ごろな価格で販売。事務局の窓口に言えば手に取ることができます。温かさの伝わる小物たちを、お孫さんやお友達へのプレゼントに、ご利用ください。

また、会員皆さんの自慢の作品を展示・販売することもできます。事務局の担当までお問い合わせください。

現在、並んでいる小物は――。

・**遊び**＝竹とんぼ、こま、ぶんぶんごま、ゴム鉄砲、オカリナ、貝のお雛様（ひなさま）、テディベア、布のお人形、布ぞうり、フェルトのケーキ

・**食**＝竹で作ったバターナイフやケーキナイフ、しゃもじ

・**生活雑貨など**＝ペーパーカバー、しおり、布や毛糸の帽子、ビーズのアクセサリー、粘土細工の人形、竹の花瓶、瓢箪（ひょうたん）の置物

これらの小物販売はセンターの独自事業です。市民フェスティバルでも販売し、竹とんぼ、ぶんぶんゴマ、ゴム鉄砲は好評、前回は完売しました。今年95歳の澤田義雄さんがお正月の門松の竹で作ることも人気の秘密です。

各地のシルバーが、独自事業に知恵を絞っています。松山市シルバーは「夢の実現」と位置付けて①会員の発想を事業としていかに成立させるか②センター自身がいかに仕事を生み出すか――をテーマに、リメイク工房、手漉（てすき）き和紙、印刷夢工房事業を推進しています。ユニークなものでは結婚相談所（浜松市）や理髪店（草加市）を運営しているシルバーもあります。

所沢の独自事業は、小物販売の他に、学習塾、習字・英会話教室などがあります。

アイデア次第でさまざまな独自事業が考えられます。会員皆さんの提案を、お寄せください。（阪口）

気を語る 気を描く

代表　高荒良吉

四季を描く会の活動も3年8ヵ月になりました。春夏秋冬の自然を探し各地にスケッチ旅行をしました。

4月の山梨県勝沼ぶどう郷――桜と桃の花が同時に満開。南アルプスには残雪が、また奥秩父甲武信ヶ岳の絶景は最高でした。

晩秋の逗子市葉山・仙元山――会員の森栄さんと珍道中。途中、電車やバスの乗り降りに迷いながら、やっと仙元山へ。海抜はたった118㍍ですが、頂上からは相模湾、江ノ島、箱根、富士山、丹沢連山、伊豆半島を一望に。感激のスケッチでしたが、早々に切り上げ、地魚料理店に急ぎました。帰りの車中、箱根と富士山に沈む夕日が相模湾に映り思わずカメラを向けました。気圧や気温、気節の空気を、そして太陽の光の七色を感じました。

悠和ちぎり絵会の近藤ミネ子さんが観察の大切さを語っています。

『気』＝こころは目には見えませんが、その空間を描く事により、作品に明るさ、温かさ、味わいが出るのでは……。路傍の小石も描く作者の感じ方で、豪華で気品の高いものにも見える。人間が持つ感情が、良いに付け悪いに付け、作品に出るのです。

サークル訪問⑨
四季を描く会

仙元山より望む（高荒）

「私には、絵心がないから」と思う方も『気』を落とさず、気楽に気兼ねせず、四季を描く会に参加しませんか。

『気』が合うかも。

『気』を語りましょう。

＊問い合わせ＝悠和会事務局

☎04-2928-8695

24年度・悠和会行事予定

- **24年度悠和会定時総会**
  5月23日(水)13時～
  くすのきホール（所沢駅東口）
- **野球観戦**
  8月10日(金)
  西武ドーム球場
- **親睦旅行**
  9月13日(木)～14日(金)
  スパリゾートハワイアンズ
  ＊震災復興支援・いわき湯本温泉
- **所沢市民フェスティバル参加**
  10月27日(土)～28日(日)
- **忘年会**
  12月16日(日)
  『獅子』西武ドーム店
- **会員作品展**
  25年3月1日(金)～4日(月)
  所沢第2市民ギャラリー

＊詳細＝折り込みの《悠和会たより「第24号」》でお知らせします。

太竹の吾の子春雨に目覚しか
大地をゆらし天に伸びゆく

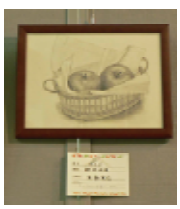
沓澤　勝美（富岡）

作品展誤掲載お詫びします

つどいの樹117号6ページ「平成23年度　会員作品展」で紹介した新田隆昭さんの写真は魚島克己さんの間違いでした。新田さんと魚島さんの作品と写真を再掲載します。

ご迷惑をおかけした方々に深くお詫びするとともに、今後このようなことのないよう、広報部員一同、細心の注意を払ってまいります。

新田隆昭さん（新所沢）



魚島克己さん（新所沢東）

投稿をお待ちしております。ご意見、感想文、短歌、川柳など（400字以内。地区名、氏名を明記）　作品は不返。広報で編集することもあります。また掲載できない場合もあります。ご了承下さい。投稿箱は事務局右横。郵送可。

お仕事拝見 57
「金仙寺」

しだれ桜の守り人 ご住職に信頼され
田中利さん

あまりにも有名な金仙寺（三ケ島堀之内）のしだれ桜。高さ12メートル、枝幅15メートルを誇ります。樹齢は１４０年あまりとか。夜はライトアップされ４月１日には桜まつりも開かれ、いやが上にもにぎわいます。

早稲田大学所沢キャンパスに近いこのお寺で、３年間植木や花の手入れ、落ち葉の片付けなどで働いているのが田中利さん（山口）です。

「体を動かさなくちゃダメ」。こう言う田中さん、根っからの植木職のようですが、以前は会社を経営していたそうです。大阪・豊中市出身の団塊世代。

金仙寺には、しだれ桜のほかにも吉野桜、大ケヤキ、寒ツバキなど大きな樹木がたくさんあります。田中さんの仕事は月、水、金曜の午前中ですが、秋の落ち葉の多いときは毎日とのこと。そして春、極め付きはしだれ桜の散りどき。満開のしだれ桜の花びらは、掃いても掃いても掃ききれないほど。

「毎日、楽しくやっています」。３月２日の取材の日、たまたま来た石屋さんとの応対も手なれたもの。自信のなせるわざかも。そして何よりも、ご住職にはしっかり信頼されているようでした。

桜祭りの日は、狭山ヶ丘駅からお寺まで臨時無料送迎バスも運行。田中さんには、お客さんの案内や掃除などで、一年で最も忙しい日になります。

（長谷川）

会員外の市民も参加して 振り込め詐欺防止講演会

振り込め詐欺対策講演会が２月22日（水）、旧市庁舎４階ホールで開かれました。一向に減らない被害を防ぐ心構えなどを、所沢警察署の安藝譲・生活安全係長が、具体的な手口を紹介しながら説明しました。

この講演会は、公益社団法人移行を前に、地域に開かれた公益活動の一環として開かれ、会員40名に加え一般市民14名も参加しました。

事故ゼロを目指して

平成23年度の会員事故は、14件（傷害事故12件、賠責事故2件:平成24年2月29日現在）発生しました。平成21年度から、18件、22件と増加傾向にありましたが、23年度は前年を下回ることができました。

（安全委員会）

◇職員退職◇

２月29日付で総務係長の齋藤小枝美さんが退職しました。センターでの16年間の経験を生かして、３月から福岡県でケアマネージャーとして活躍しています。

健康一口メモ 17

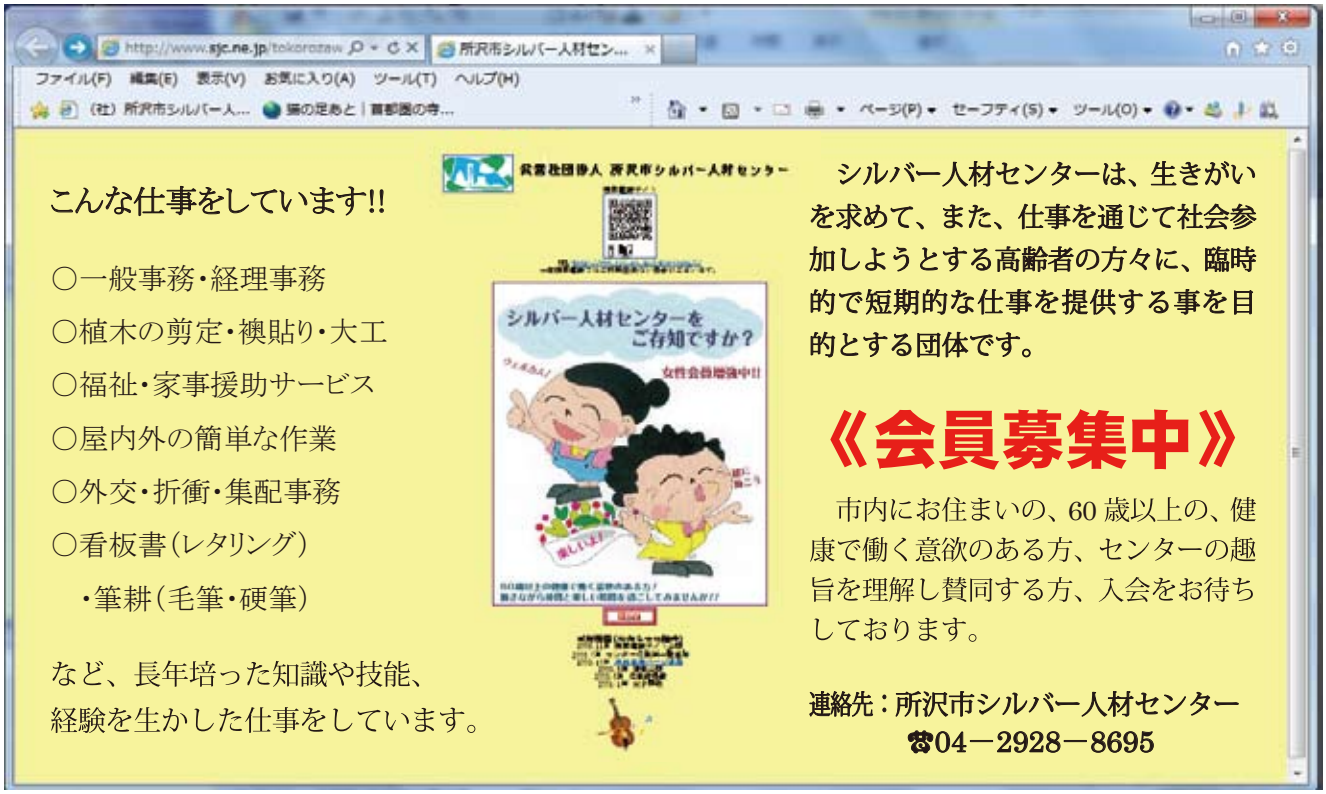
血圧は自分で測り 自分で管理を！

年齢とともに老化してきた血管は傷つき、もろくなって高血圧を起こしやすくなります。血管の状態は一定ではなく、時間や運動量、気温の変化、心理的ストレスなどにより、絶えず変動しています。

特に怖いのは早朝高血圧で、脳卒中や心筋梗塞などのリスクが高いと言われています。眠りから目覚め起き上がる時、体が脳やホルモンの分泌など体内機能をスタートさせ、血圧や心拍数も上昇します。そのため早朝から正午までに発症する率が高く、注意が必要です。

血圧の変動を正確に診断するには起床後の血圧を自分で測定し続けることから始めましょう！　目安は上が１３５以下、下は85以下です。

そして生活習慣の改善として、塩分を控えめに、カロリーの取り過ぎに注意し、肥満を防ぐ適度な運動を心がける生活が一番です。（高柳）



ホームページで
仕事の内容を掲載しています。
http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/

定時総会は5月23日

平成24年度事業計画、役員改選、公益社団法人スタートに伴う重要議案の審議が予定されています。出欠の有無、委任状の提出を忘れずに!

□日時＝5月23日(水)　13時～
□場所＝くすのきホール
(所沢駅東口)

老化を防ぐ食事 聞いて作って試食

婦人部研修会

「老化を防ぐ食事」をテーマに講話と、体に良い旬の食材を使った調理実習・試食会を開きます。

□日時＝4月19日(木)　10～13時
□場所＝市保健センター(上安松)
講師＝森幸子さん
(市保健センター管理栄養士)
定員＝36名
費用＝500円(材料費)
申し込み＝センター事務局
☎04-2928-8695

おしゃべりしながら… 春の清掃ボランティア

□日時＝5月10日(木)　9～12時
□場所＝所沢航空記念公園
詳細は、折り込みで。

健康相談日

場所　センター・2階会議室
日時　4月19日(木)　10時～12時
5月17日(木)　10時～12時
6月21日(木)　10時～12時

健康で、元気に就業していただくため、健康相談を行っております。

就業相談日

場所　センター・2階会議室
毎週水曜日　午後2時～3時半

就業相談を行っております。あなたにふさわしい就業先を見つけてください。

あとがき

東日本大震災から、早くも1年が経過しました。被災された方々が、今なお辛い日々を過ごされているとの報道に、改めて心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。4月1日より当センターは公益社団法人としてスタートしました。総会の呼称も「定期」から「定時」に変わるなど、気付かないところで組織は大きく変わっています。その変化を「つどいの樹」が、随時お知らせします。

投稿をお待ちしております。ご意見、感想文、短歌、川柳など(400字以内。地区名、氏名を明記)　作品は不返。広報で編集することもあります。また掲載できない場合もあります。ご了承下さい。投稿箱は事務局右横。郵送可。